

ごうつ

市議会だより

江津高校 齋藤こまち



2025.12
No.165

島根県立江津高等学校 令和7年度体育祭

／ 皆さまの税金はこのようなに使われました ／

令和6年度決算 認定

重要課題である人口減少対策や「スマートシティ江津推進構想」に基づくDXの推進、施設の老朽化に伴う更新費用などに重点を置き編成した令和6年度の執行状況を審査。

(委員長／坂手洋介 副委員長／森元健二 委員／議長・監査委員を除く全議員)

令和6年度 一般会計・特別会計の決算		
会計名		歳入総額
一般会計		188億 699万円
特別会計	国民健康保険事業	29億4115万円
	国民健康保険診療所事業	131万円
	後期高齢者医療事業	8億6631万円
		歳出総額
一般会計		180億2688万円
特別会計	国民健康保険事業	29億3817万円
	国民健康保険診療所事業	131万円
	後期高齢者医療事業	8億5544万円

水道事業会計の決算		
	収入総額	支出総額
収益的収支	8億3913万円	7億7526万円
資本的収支	2億2593万円	4億4126万円

下水道事業会計の決算		
	収入総額	支出総額
収益的収支	9億 124万円	8億3158万円
資本的収支	6億3299万円	8億 888万円

通学路整備

通学路交通安全プログラムにより、安全確保の対策を実施

1億3932万円



側溝改良工事
(市道都野津敬川中央線)



転落防止柵設置工事
(市道江津駅裏線)

江津市合併20周年 市制施行70周年記念式典

合併から20周年および市制施行から70周年を迎え、これまでの歴史を振り返るとともに、未来への決意を市民全体で共有するため式典を実施

1650万円



ライスセンター再編整備

米の生産状況に対応した能力の増強や品質向上に向けた機械設備を整備し、生産振興を図る

9560万円



委員質疑

問 再編整備にあたり、戸別乾燥での対応を求める声があったが対応は。

答 説明会で共同乾燥への理解を求めた。

防災集団移転促進

江の川流域治水の推進を図るため、危険区域内の居住に適当でないと認められる住居の移転促進

2億2523万円



造成が完了した嘉戸団地

地域コミュニティ活性化

過疎化や少子高齢化による地域課題の解決に向け、住民の主体的なまちづくり活動を支援

1億3984万円

委員質疑

問 地域での担い手確保の取り組みは進んだか。

答 部会制から柔軟に対応できる実行委員会方式としたことで効果が見られた地域がある。

学校ICT環境整備

GIGAスクール構想推進のため、教職員や子どもたちが安心して活用できるICT環境を整備

1億5497万円

委員質疑

問 授業中や校務において機器・回線に問題が生じなかったか。

答 タブレット端末については、画面割れ・カメラの不具合・容量不足が発生したが、予備機との交換や不要なデータ削除などで対応。回線に関する障害は発生しなかった。

DX推進

自治体フロントヤードモデル事業を活用し「書かない窓口」や「リモート窓口」の実施、また業務の効率化を図るため新システムを導入

1億5360万円

委員質疑

問 年間約500時間の作業時間が削減できたとされるが、その時間の活用方法は。

答 超過勤務時間の削減、各種書類の整理、LINE配信などに充当。

公園施設長寿命化

都市公園施設長寿命化計画に基づき、中央公園および菰沢公園の施設・設備の更新

4824万円



菰沢公園ちびっこ広場改修工事

令和7年度 一般会計補正予算(第3号)

/ 8月18日 専決処分

承認

予算額

5165万円(補正後総額191億4406万円)

災害復旧費

8月10日から11日にかけて発生
した大雨災害による災害復旧

農業用施設(9カ所)・・・400万円
林道施設(10カ所)・・・440万円
公共土木施設……………4325万円
(道路・河川・公園など)

5165万円

令和7年第3回定例会

令和7年度 一般会計補正予算(第4号)

可決

予算額

1億7413万円(補正後総額193億1819万円)

総合市民センター

外壁調査業務委託料

585万円



委員質疑

問 意匠替えの検討を含めて行うのか。

答 今回は安全対策としての点検が主なもの。

仮称西部統合小学校建設

グラウンド整備設計業務委託料
支障物撤去ほか

3895万円



都市公園改修整備

市民プール循環ろ過ポンプ
菰沢公園浄化槽ポンプ
修繕ほか

725万円



市民プール循環ろ過ポンプ



菰沢公園浄化槽

物価高騰対策

障がい・介護・保育事業所物価高騰対応重点支援金
水道事業会計補助金
下水道事業会計補助金

2435万円

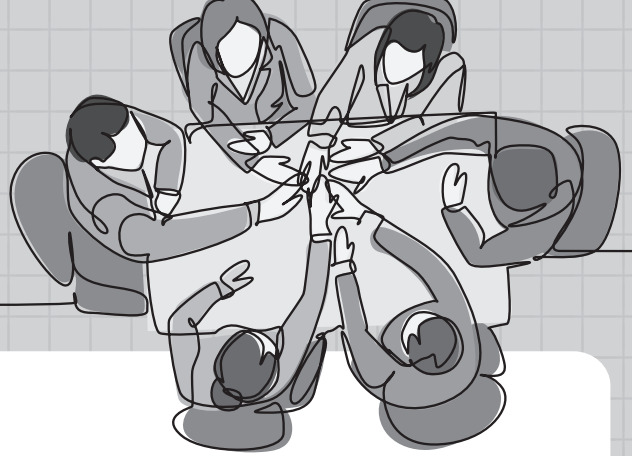
委員質疑

問 他にも実施することのできる事業があるが、
今回の補正予算で行う理由は。

答 配分された予算の範囲内で行う必要があり、
精査した結果。

委員会

ピックアップ



総務民生委員会

●個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例（一部改正）

自治体情報システム標準化に伴って共通機能が設けられ、当該機能を扱う事務について条例に定める必要があると示されたため、条例改正を行うもの

委員質疑

問 条例改正の根拠は。

答 令和6年4月4日付デジタル庁通知「地方公共団体情報システムの標準化に伴う番号利用法第9条第2項に規定する条例の整備について」に基づくもの。

●地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例

地方公務員法の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、育児部分休業の取得時間の選択肢を拡大、また、育児に係る両立支援制度を利用しやすい環境を整備するよう改めるもの

委員質疑

問 仕事と育児の両立を、どう進めているか。

答 意向確認を行うとともに、制度の周知を進めている。

●議会の議員及び長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び議会の議員及び長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例（一部改正）

公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、同法施行令に準じて定める選挙運動の公費負担の額について所要の改正を行うもの

委員質疑

問 改正の目的は。

答 3年ごとに定期的に行われる単価改定。物価高騰や社会情勢の変化に対応するためのもの。

建設経済委員会

●市営住宅管理条例（一部改正）

市営住宅小田団地および渡団地の用途廃止に伴い、この2団地の規定を削るもの

委員質疑

問 低所得者の受け皿が減ることになるが、問題はないか。

答 桜江町には、他にも空室のある市営住宅があるので問題はない。

本会議における賛成・反対意見

議案第56号 | 令和7年度 一般会計補正予算(第4号)

可決

反対 多田 伸治

補正予算案では、当初予算の戸籍振り仮名業務の委託料1156万円を、会計年度任用職員の人件費196万円へ組み替えているが、同じ業務の費用が1/6となるのは異常であり、説明責任が果たされていない。また、物価高騰対策は市民に広くいきわたるものとはなっていないし、仮称西部統合小学校の建設では事業費を3895万円も増額するのに、事業費の全体像や国の財政支援の見立てが示されていない。市民の理解を得られるものではないため反対。

賛成 藤間 義明

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に関する事業や、仮称西部統合小学校建設事業に関するもの、また令和7年4月の定期人事異動に伴う職員人件費の調整、令和6年度決算に伴う前年度繰越金および国県補助金返還金についても計上している。いずれも必要な予算であり賛成。

認定第1号 | 令和6年度 一般会計歳入歳出決算

認定

反対 森川 佳英

決算では、支出済額180億2688万円に対して、不用額は6億8196万円、黒字額は7億8010万円にも上っている。また、基金残高は62億3034万円と過去最高額に達した。これらの数字から、財政的には一定の余裕があることが示されており、市執行部の「財政が厳しい」との説明とは、必ずしも一致していない。予算執行の計画性や実効性に疑問が残り、事業の実施状況や行政の執行体制に課題があるため反対。

反対 多田 伸治

決算審査では、チェックする議会からの質疑に、チェックされる市執行部が身勝手な注文をつけるなど、行政としての姿勢に問題があった。また、事前に求めた調査を行わず真摯な態度にも欠けており、決算審査に臨む行政として不適切だった。事業では、格差と貧困への対応が鈍く、物価高騰対策・地域振興・就業対策・生活交通・地場産業振興もおざなりで、市民の要望に耳を傾ける施策となっていないため反対。

賛成 下谷 忠広

令和6年度の一般会計は「第2期江津市版総合戦略」の最終年度に当たり、これまで推進してきた人口減少対策に関する各種施策の総仕上げを図るとともに「スマートシティ江津推進構想」に基づくDXの推進、物価高騰対策や仮称西部統合小学校建設に係る費用などに重点を置き、編成され、執行された。決算審査にて現地調査や資料などの説明を受け、それぞれの事業は目的達成のため、いずれも適切に執行されており賛成。

認定第2号 | 令和6年度 国民健康保険事業特別会計 歳入歳出決算

認定

反対 森川 佳英

令和6年度は、物価高騰が続き所得が増えないなか、国保料値上げが行われた。国保加入者の多くが年金生活者や非正規雇用、自営業者であることを踏まえると、市民生活に大きな影響を与えた。一方で、基金残高は2億4013万円と余裕があるのに、国保料値上げを進めており、運営方針には疑問があるため反対。

賛成 渡辺 信明

本事業は、被保険者の疾病などに関して必要な保険給付を行い、社会福祉の向上が目的。被保険者数の減少などにより、医療費は令和5年度比で減少しているが、被保険者一人当たり医療費は県内でも高い状況の中で、一般会計からの繰り入れや財政調整基金の取り崩しにより財源を確保している。決算審査において資料などの説明を受け、目的達成のため適切に執行されているため賛成。

認定第4号 | 令和6年度 後期高齢者医療事業特別会計 歳入歳出決算

認定

反対 森川 佳英

令和6年度には、後期高齢者医療保険料が値上げされた。市執行部は「市民生活に直接影響しない」と生活実態を見ていない冷たい態度を示した。しかも、保険者である島根県後期高齢者医療広域連合や国へ、対策を求めるべきなのに、そういった動きもない。地方自治体として市民の命と健康、暮らしを守る責任を果たしていないため反対。

賛成 寺前 克宏

市は保険料の収納事務などを担当し、収納した保険料と一般会計から繰り入れた保険基盤安定費、療養給付費を広域連合に納付している。一般会計からの繰入額は、令和5年度から4267万円減少しており、療養給付費の減少による負担金の減少が要因。決算審査において、目的達成のため、いずれも適切に執行されているものと判断し賛成。

本会議 における 賛成・反対意見

認定第6号 | 令和6年度 下水道会計決算

認定

反対 多田 伸治

令和6年度も、無駄な公共事業である管渠整備へ4億9617万円を投じ、「余裕がない」はずの一般会計から2億5410万円も繰り入れている。しかも、その結果としての下水道新規接続はわずか102件で、214万円で18基を整備した合併処理浄化槽設置整備事業に効率性、市内業者への仕事おこしで劣っている。管渠整備は令和8年度まで続くと言われるが、独立採算で可能な規模へ縮小すべきあり反対。

賛成 坂田 優美

令和5年4月1日から公共下水道事業特別会計と農業集落排水事業特別会計が統合され、2年度目の決算を迎えた。下水道事業会計決算報告書その他、決算付属書類や提案理由について、現地調査を含め多くの質疑を重ね、丁寧に審査した結果、いずれも適正であると確認。さらには監査委員から、決算に関する書類はいずれも正確で、適正に表示しているとの審査結果が出されていることから賛成。

○：賛成 ●：反対

議決結果【第3回議会定例会】

議案番号 件 名 議決結果			森元健二	植田圭介	渡辺信明	坂田優美	寺前克宏	下谷忠広	坂手洋介	植田好雄	鍛冶恵巳子	多田伸治	山根兼三郎	森川佳英	藤間義明	森脇悦朗	河野正行	石橋孝義
執行部提案	同意第4号 教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第5号 人権擁護委員候補者の推薦について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第8号 専決処分報告について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第51号 江津市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第52号 地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第53号 江津市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第54号 江津市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第55号 江津市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び江津市の議会の議員及び長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第56号 令和7年度島根県江津市一般会計補正予算(第4号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
	議案第57号 令和7年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第58号 令和7年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第59号 令和7年度島根県江津市水道事業会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第60号 令和7年度島根県江津市下水道事業会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第1号 令和6年度島根県江津市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
	認定第2号 令和6年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
	認定第3号 令和6年度島根県江津市国民健康保険診療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第4号 令和6年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
	認定第5号 令和6年度島根県江津市水道事業会計決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第6号 令和6年度島根県江津市下水道事業会計決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○

議長職は表決権なし

一般質問

市議
の

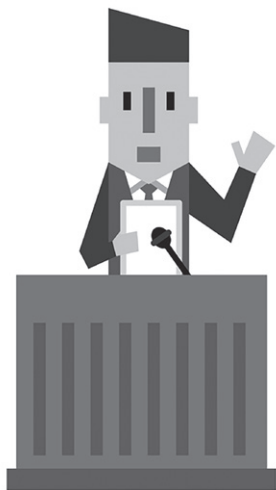
市
の

Q
&
A

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。

江津市議会
公式YouTube
チャンネル



※一般質問は江津市議会公式YouTubeチャンネルに動画を掲載しています。各議員の顔写真の右下の二次元コードからも動画の閲覧ができます。
また、一般質問の全ての議事録は市のホームページの「市議会」→「会議録検索」からも見ることができます。
(ただし掲載は次期定例会の前になります)

江津市をもっと
暮らしやすくするには、
こうしたらいいな

A. Q.

スマホの有無で行政のサービスに格差があつてよいのか。
サービスに著しい差異があつてはならず、国のビジョンに基づき格差解消に取り組みたい。

A.

スマホなしなら「江津市キャッシュレスキャンペーン」は『ゆめか』を使用した場合のみ利用可。定期券は利用できない。

Q.

10月開始の「江津市キャッシュレスキャンペーン」、さらには「のるいこいうつ」のデジタル定期券、スマホなしで利用可能か。

A. Q.

A Q

市内のスマホの普及状況は。市は調査していない。総務省調査では島根県で66・7%。
国のビジョンに基づきデジタル格差対策が求められている
行政サービスでデジタル格差が生じるのは問題ではないのか



A.

自らの主張に沿った答弁を求めて質問をくり返しているが、きちんと答弁している。

Q.

デジタル格差が存在し、「サービスに差異があつてはならない」と答弁しているのに、是正されていないから質問している。市行政のあり方としてこれでよいのか。

A.

問題点を3月と6月に指摘したが、理解していなかったのか。主張はわかるが、すでに答弁しており、理解してもらいたい。

Q.



ただしんじ
多田 伸治



Q

街の印象を左右する公衆トイレの衛生環境や美化への改善は

A

清掃などの管理体制に変更はないが修繕や大規模改修を実施



さかた ゆうみ
坂田 優美



Q

以前、国スポに合わせて改善を求めた中央公園のトイレについて、市民球場の状況は。

A

3塁側と球場内トイレの全面改修と、多目的トイレを更新し、下水道へ接続する大規模改修を実施。1塁側トイレ更新の必要性は強く認識しているが、事業量の平準化も図りながら、公園施設長寿命化対策支援事業で整備したい。

Q

庭球場への新設や屋外トイレ増設など答弁もあったが状況は。

A

過去に作成された実施設計をベースに、現行に見合った修正設計が必要。国スポでは競技会場の整備が最優先のため、開催時は仮設トイレで対応予定。

Q

第2体育館の多目的トイレは、出入口が未だにアコーデイオンカーテンのまま。改善しないのか。

A

既存の構造上簡単ではない。現行トイレに当面の対策を講じることで対応する。

Q

【猛暑でエアコン設置】
コミセンの講堂へのエアコン設置の要望があるが対応は。

A

利用者が無理のない範囲で活動されていると認識。補助事業が活用できる機会には検討したい。



第2体育館の多目的トイレ

Q

緊急銃猟制度で人身事故が発生した場合の補償は

A

国家賠償法に基づき市が損害に対して賠償することとなる

Q

市街地にクマが出没するようになった原因は。

A

近年は山林の手入れ不足や耕作放棄地の増加などにより、人の生活圏域とクマのすみかとなる山林との境界が曖昧になっていることに加え、空き家や放置果樹の増加なども、民家周辺での目撃が増加している要因と考えられる。

A.Q

緊急銃猟制度とは。

クマやイノシシといった危険鳥獣が人の生活圏に侵入し、人身被害のおそれ大きい場合に、市長の判断でハンターへの委託などにより銃猟を実施できる制度。

Q

緊急銃猟制度において、射撃訓練費用は必要経費として補填されるべきでは。



猟友会ポスター

A

必要な支援ができるよう、捕獲者などの意見を聞き検討する。

Q

人身事故が起これば、捕獲者は加害者として精神的ダメージを強く受ける。ケア対応は。

A

クマなどの大型の獣の捕獲には高い危険が伴い、精神的・肉体的な負担も大きいものと認識している。実効性ある体制づくりに向けて、関係機関や捕獲者との緊密な連携の下で協議を進める。



しもだ ひろ
下谷 忠広





市民体育館・第2体育館

Q. 危険な日が増えている。エアコンがあれば体育館は夏場の運動不足解消、子どもの居場所や災害時避難場所にもなる。体育館のエアコン設置予定は。

A. もはや夏は「危険な暑さ」。熱中症アラートの発表状況は。島根県のアラート発表は令和3年13回、令和4年21回、令和5年31回、令和6年41回、令和7年は9月1日時点で、47回。

A 市内には体育館が16施設あるが、いずれも設置していない

Q 市内の体育館でのエアコン設置状況は

A. 地域医療対策など、様々な地域課題への対応が市職員に求められるが、労働環境の改善が必要。以前、他市に比べ本市の会計年度任用職員の期末勤勉手当支給要件が厳しいと指摘したがその後は、支給要件は変更していない。

Q. 市内の救急搬送のルールは。基本的には市内唯一の救急告示病院である済生会江津総合病院に搬送される。消防署が住民へ周知したい内容があれば協議する。

【地域医療対策】

A. 桜江B&G海洋センターは耐震改修時に検討する予定。現時点で他の予定はない。すべての体育館に設置が望ましいが、一度に設置は困難。課題は認識している。



うえ だ けい すけ
植田 圭介



A. 関係人口創出の次のステップについて、他の手段の一つとして、特定地域づくり事業協同組合の制度活用が考えられる。本市での制度活用の可能性は、本市での制度活用することで、安定的な雇用環境と一定の給与水準

A.Q. 隊員を増やす場合の課題は。関係者のコミュニケーション不足や認識のずれによるミスマッチ、隊員の孤立を防ぐための受け入れ体制の整備などがある。

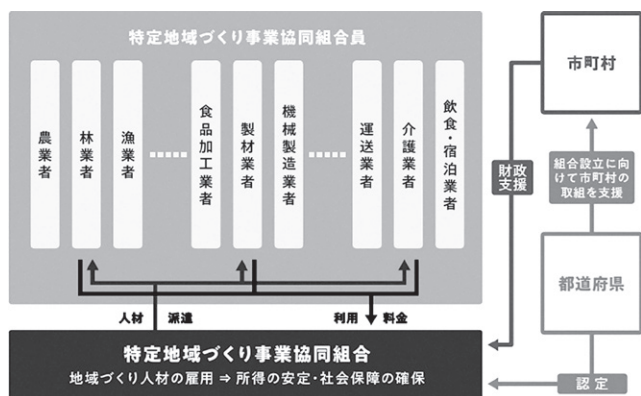
A. 関係人口創出の取り組みが進むなか、本市により良い変化をもたらす人材の確保や次のステップとして、地域おこし協力隊の活用が考えられるが、協力隊員を増やすことは可能か。様々な地域課題のうち、担当課として協力隊が担うのが効果的と考えるものが多くあると判断した場合、増やす可能性がある。

A 地域おこし協力隊のこれまでの成果は

Q 地域活性化につながる取り組みであったと認識している



もり もと けん じ
森元 健二



特定地域づくり事業協同組合制度の概要

を確保した職場をつくり出し、地域内外の若者などと呼ばび込むことができるようになり、地域事業者の事業の維持・拡大を推進することができる。事業者から制度活用の相談があった場合、島根県の担当部局と連携体制を構築したい。

Q

最低賃金で働く市民へ
生活保護以外での支援を

A

これまで検討したことはない



もりかわ よし ひで
森川 佳英



Q

最低賃金では生活を賄うには不十分との声が多数ある。最低賃金で生活する市民への認識は。

A

島根県の最低賃金は時間額1033円へ上がる。最低賃金のルールの遵守が、労働者の生活安定に重要と認識している。

Q

最低賃金で働く人がどの程度いて、生活の実態がどんな状況か、調査・把握する必要があるのでは。

A

そうした考えはない。

Q

厚生労働省の資料でも、働いても生活保護より収入が少なくとある。生活費と最低賃金の乖離への市行政の見解は。

A

一人ひとりの家族構成や生活スタイルに違いがあり、一概に言うことはできない。

【島根県の主な中小企業向け支援制度】(2025年現在)

支 援 名	内 容
業務改善助成金	最低賃金引き上げと設備投資を同時に行う事業者に対して助成
省力化投資等支援事業補助金	人手不足対策として省力化設備導入を支援
デジタル導入モデル支援助成金	DX・IT導入による業務効率化や新サービス開発を支援
事業承継新事業活動等支援補助金	後継者による新事業展開を支援
エネルギーコスト削減対策補助金	電気・燃料費高騰対策として省エネ設備導入を支援
販路拡大支援(営業代行活用)	営業代行を活用した販路拡大を支援

(島根県HP参照)

Q

最低賃金で働く市民へ、生活保護以外で活用できる家賃補助・移動支援・食料支援などの施策を検討すべきでは。

A

検討したことはない。

Q

市内事業者に特化した賃上げ支援加算・労働環境改善加算など、市独自の施策を。

A

国は適切に支援策を考えており、市はその施策を活用する。

Q

ボランティアが集めた
海岸漂着物の処分は

A

各海岸の管理者に
できる限り協力をしたい



てら まえ かつ ひろ
寺前 克宏



Q

ボランティアによる海岸清掃で収集したごみへの対応は。

A

一般廃棄物で焼却できるものは、提供した指定ごみ袋に入ってもらい月1回程度回収していた。

A.Q

今後の対応は。

これまでは粗大ごみ処理施設で破砕処理できない大きさのものは回収していなかったが、一般廃棄物の処理責任の観点



黒松海岸の漂着物

Q

ボランティアの献身的な活動への表彰などの考えはないか。

A

本市や国・県の表彰規程に照らし、推薦できる事例については検討していく。

【菰沢公園の整備】

A.Q

スケートボード場再整備は。

コンクリート舗装が経年劣化しており、スケートボード場再整備の必要性を認識しているが、利用状況を踏まえて決定したい。

Q

妊婦に優しい環境づくり
出産の不安に寄り添う支援を

A

済生会での助産師外来受診を
7年度より全額公費負担



かじ えみ こ
鍛治 恵巳子



Q

5歳児健診の導入に向けた
課題解決の取り組み状況は

A

すくすく相談ネット協議会で
スタッフ確保を検討する



うえだ よしお
植田 好雄



Q

妊婦健診は受診券使用で無料
となるが、対象外の項目は。

A

すべての妊婦へ実施するNST
T検査は1回約1000円が
自己負担。そのほかにも有料
の検査がいくつかある。

Q

NST検査はお産の安全安
心のために必要な検査。全国
の自治体の50・5%で公費負
担となっている。本市も公費
負担を。

A

県内自治体で足並みを揃えて実
施しており、基準項目以外のも
のは未だ議論の段階にない。県内
の状況なども情報収集していく。

Q

病院までの距離・もしもの時
のために、消防と連携した
妊婦情報登録制度の導入の
考えは。

A

妊婦の不安を取り除く取り組
みを中心に、妊婦に優しいま
ちを目指したい。



NST検査

赤ちゃんの元気度と母体のお腹の張り
を同時に計測する検査

Q

ベビーボックスの今後は。
第1子用と第2子以降用を分
ける。第2子以降は現物を減ら
し、デジタルギフトを増額する。

Q

陣痛タクシーの取り組みを。
安心して出産を迎えられる環
境づくりは重要。事業者への働
きかけや情報収集に努める。

Q

健診は病気や発達障がいを見
つける場でなく、個性や成長を
見守る機会という周知啓発を。

A

健診の必要性・重要性を理解
し対象児全員に受診してもら
えるよう、個別通知・広報・
ホームページ・各保育施設で
周知する。

【こども誰でも通園制度】

Q

給付事業として、保護者が保
育事業者と直接契約するため、
公的責任の後退が懸念される
が、国が基準とする安全で質
の高い保育が確保されるのか。

A

国の方針に従い体制を整え、
必要とする人が安心して利用
できるように進めたい。



令和8年4月こども誰でも通園制度開始

Q

国基準を上回る支援や現場の
声を反映した改善を。

A

基準により実施し、開始後に
必要があれば議論をする。

Q

居住地以外の広域利用は制限
し、居住地優先にすべきでは。

A

保護者の希望や施設の体制を
確認し、望ましい利用方法を
協議する。

Q

令和7年度における
ごみの排出計画は

A

一般廃棄物処理基本計画で
6772トンとしている

Q

過去3年の可燃ごみ・不燃ごみ・
資源ごみの年間総排出量は。

A

令和4年度 7338トン。
令和5年度 6955トン。
令和6年度 6752トン。

Q

令和6年度のリサイクルス
テーションの利用状況は。

A

年始の3日間を除き、午前8時
から午後6時まで受け入れた。
搬入実績は約457トン。

Q

充電式電池の扱いには危険が
伴うが処分法は。

A

燃やせないごみの有害ごみに
区分し月1回の回収。適切に
扱わないと内部短絡・過充電・
高温機械的損傷などで熱暴
走を発生させ、発火・爆発す
る危険があるため、島の星ク
リーンセンターで絶縁処理し、
専門業者に引き取りを依頼し
リサイクル処分している。

Q

充電式電池を含む製品や
その処分方法の周知は。

A

取り外せるものや膨張した充
電池は、燃やせないごみの有
害ごみで、取り外せないものは
本体ごと金物類で出すように
求めている。『かわらばん』や
ホームページなどで丁寧に周
知していく。



さか て よう すけ
坂手 洋介



島の星クリーンセンターごみ集積所

Q

国スポ開催に向けた
施設整備の計画と課題は

A

既存施設を有効活用し
仮設施設も検討

Q

2030年『島根かみあり国
スポ』のラグビー会場となる
多目的広場の整備計画は。

A

ラグビーの競技施設基準では
芝生の競技場が求められる
が、本市には条件を満たす施
設がないため、多目的広場の
陸上トラック内側（インフィ
ールド部分）を芝生化改修する。

Q

水球会場の市民プールは築
40年以上が経過し、老朽化が
課題。整備計画と暑さ対策は。

A

可能な限り既存施設を活用
する方針で、ろ過装置の更新・
プールサイド床の改修・トイレ
の洋式化などを検討する。屋
外プールのため、暑さ対策は
大きな課題と認識しており、
実施可能な対策の検討を進
める。

Q

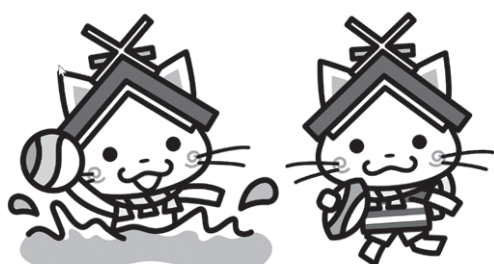
大会のためだけの仮設的な
整備ではなく、大会後も地域
住民に広く活用されるよう、
将来の市民の財産創出の視
点が必要ではないか。

A

大会後の維持管理も念頭に
おいた整備が必要。多目的
広場は芝生化により、国ス
ポ後もラグビーやサッカー
などの利用増を見込む。仮
設施設も検討するが、必要
最小限となるよう進める。



やま ね けん ざぶ ろう
山根 兼三郎



【水球】

【ラグビーフットボール】

島根県観光キャラクター
「しまねっこ」
島国・全許諾第74号

SHIMANE
KAMARI
2030

市議会議員は何してる？

議会活性化特別委員会では、江津市議会が市民の皆さまにとって、より身近で関わりやすい存在となるよう議会の情報公開や市民参加の促進、政策立案機能の向上、議会の役割や価値を高める取り組みを進めています。

下記のとおり『市民の政治参加を考えるフォーラム』を開催します。

議会の仕組みや議員の仕事に興味のある方のご参加をお待ちしています。



前回のフォーラム

日 時 令和8年1月24日(土) 13:30～16:00 (受付13:00～)

場 所 江津市役所 多目的ホール

お問合せ 江津市議会事務局 Tel. 0855-52-7498 / E-mail : gikaijimukyoku@city.gotsu.lg.jp

市民の声が市を動かす！海岸漂着ごみ収集ルールを緩和

建設経済委員会では、8月19日に江の川下流域から黒松までの海岸線の漂着物の現状と海岸管理者の区分について、閉会中の調査を行いました。これは5月に市内20カ所で開催した「市民と議会の語る会」において、黒松連合自治会から、議員に対して「黒松町内浜・川清掃に関するお願い」と題する書類が手交されたことが発端です。調査では、塩田海岸、尾浜海岸、波来浜海岸ならびに黒松海岸の漂着物の現状を視察し、執行部からの説明を受けました。

海岸漂着物については、国を挙げて取り組む国際的な問題ではありますが、現実にごみが打ち寄せる沿岸自治体・地域住民にとっては切実です。

こうした問題意識のもと、調査後の執行部との協議により、現状を少しでも改善するための取り組みとして、地域住民が海岸清掃で集めたごみについて、これまでの規定サイズに切って出す必要があったルールを緩和し、そのままの状態で排出できることとなりました。根本的な解決は困難であっても、今回の対応は、地域住民の負担軽減につながる市としての一歩と捉え、引き続き問題解決に向けた取り組みを継続していきます。



尾浜海岸で集められた漂着ごみ

より良い 「市議会だより」に向けて

8月7日、島根県市町村議会広報研修会に市議会だより編集特別委員会の委員で参加しました。議会報づくりの研修の後、本市を含む議会広報について講評いただきました。様々な指摘を受け、市民の皆さまに読んでいただけるよう改善に取り組んでいます。

本号でも、変更点が数カ所あります。見つけられたでしょうか。また、読みにくい箇所がございましたら、最終ページに記載の議会事務局までご連絡をお願いします。



地域医療意見交換会 結果報告書を提出

1月から市内団体、5月には市内20カ所で市民の皆さまと地域医療について意見交換をさせていただき「意見交換会結果報告書」を取りまとめました。

7月25日には議長、医療対策特別委員会委員長および副委員長から中村市長に対し、この報告書を手渡しました。

本市議会では「地域医療を考える江津市議会議員連盟」を立ち上げるなど動いています。執行部にも、これまで以上に協力いただけるよう努力していきます。



＼報告書の内容はこちらから／

市民の感謝が力に！済生会病院まつりで『感謝の森』を育む

＼ 地域医療を守る第一歩！ ／ 「サンキューメッセージ」を集めました

10月19日、地域医療を考える江津市議会議員連盟は、市民の皆さまと共に地域医療を支える一歩として、済生会江津病院が開催した病院まつりにブース参加しました。今回の企画は、スタンプラリーと合わせた『みんなで作ろう感謝の森』と題して、日頃、地域の中核病院として奮闘してくださる病院スタッフの方々へ、感謝の気持ちを伝えることを目的に実施しました。

ブースでは、市民の皆さまに付箋紙へサンキューメッセージを書いてもらい、これを模造紙に描いた大きな木のイラストに貼り付け「感謝の森」を完成させました。

病院側からは「モチベーションが上がった」「温かい言葉がとてもうれしかった」「仕事は大変だがこれからも頑張れる、励みになった」などと大変好評をいただきました。集まったメッセージの数々は、病院内の見える場所に掲示されとのことです。

今回の活動は、市民が主体となって日々の感謝を形に表すことで、地域医療を「自分ごと」として守っていく活動の大きな一歩となりました。議員連盟は、今後も市民と病院をつなぐ役割を果たし、持続可能な地域医療の実現を目指して活動を続けていきます。



江津よいとこ♪ 来てみんなさい〜月

今年も江津市最大のイベント江の川祭が開催されました。土曜日ということもあり、約4万人の方が訪れました。今年の灯ろう流しは、7月に開催したイベントにて市内の方々が灯ろうに絵を描いて作成し、当日は完成した約500個の灯ろうに明かりを灯し、江の川を彩りました。また6年ぶりの河川敷特設ステージを青年会議所が復活させ、若者が主軸となり会場を盛り上げました。催しも様々で、市議会有志は江津市音頭パレードで祭に参加しました。



県内市議が学ぶ地方行財政の「今」と「これから」

8月2日、出雲市の朱鷺会館で令和7年度島根県市議会議長会議員研修会が開催され、13人が参加しました。総務省事務次官の原邦彰氏が「持続可能な地方行財政のあり方」と題して講演し、人口が減少することを前提として、コンパクトなまちづくりを説くとともに、総務省が設けている補助制度などについて説明しました。



次回12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/16	17	18	19	20	21 委員会 (議会運営) 9:30~	22
23	24	25 全員協議会 9:30~	26	27	28	29
30	12/1 委員会 (議会運営) 15:00~	2	3 本会議 10:00~	4	5 議員連絡会 9:30~	6
7	8	9 本会議 (一般質問) 10:00~	10 本会議 (一般質問) 10:00~	11 委員会 (総務民生) 9:30~	12 委員会 (建設経済) 9:30~	13
14	15 委員会 (予算決算) 9:30~	16 情報交換会 9:30~	17	18	19 本会議 14:00~	20

※開始時間は予定です。

議会を傍聴しよう

江津市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎2階の議会事務局までお越しください。

議会へ参加しよう

市政に対して意見や要望があれば、議会へ請願・陳情することが出来ます。請願の場合は市議会議員の紹介が必要です。お気軽にご相談ください。

■編集・発行責任者

議長 石橋 孝義

■市議会だより編集特別委員会

委員長 坂田 優美

副委員長 渡辺 信明

委員 植田 圭介

委員 坂手 洋介

委員 鍛冶 恵巳子

委員 多田 伸治

委員 山根 兼三郎

市議会だよりは
こちらから



(多田 伸治)

夏の猛暑はすでに遠く、寒い日が続くようになりました。年の瀬が迫ってきましたが、その前に12月定例会が間もなく開会となるため、その準備もしなければなりません。

私たち市議会議員の任期は来年5月まで。残る任期があと半年ほどと少なくなってきたおり、任期中にどれだけ市民のみなさんの期待に応えられるか、汗をかき知恵を絞らなければなりません。みなさんからの要望をしっかりとつかみ、どうすれば実現できるか。市行政への働きかけも、市役所窓口で相談するだけでなく、一般質問で取り上げることも必要です。

いまの任期での一般質問はあと2回。江津市議会ではどんな議論が行われているか、この『市議会だより』で読むだけでなく、傍聴で直にご覧いただければと思います。

編集後記